

# 「徳島の挑戦」

～ ピンチをチャンスに ～

徳島県知事  
飯泉 嘉門



# 内 容

「糖尿病死亡率ワーストワン」からの脱出作戦

「テレビチャンネル激減危機」回避作戦

「林業の衰退」から再生・飛躍、そして新成長戦略へ

「三位一体改革」をバネにした「21世紀型予算」

「糖尿病死亡率ワーストワン」からの脱出作戦

# 1 「糖尿病死亡率」改善への挑戦

糖尿病  
死亡率

徳島県 H5～18 14年連続で 全国ワースト1位

H17 「糖尿病緊急事態宣言」

対策

原因 食べ過ぎ

原因 運動不足



ヘルシー阿波レシビ



ドクターズキッチン



阿波踊り体操



ウォーキング教室

H19 ワースト1位脱出 (7位へ)

H20・21 再び 全国ワースト1位

根本的対策が不可欠

「糖尿病対策センター」設置

H19.10

県委託により徳大病院に設置

「地域イノベーション・クラスタープログラム」推進

H20.7 徳島県採択 (徳島県健康・医療イノベーション)

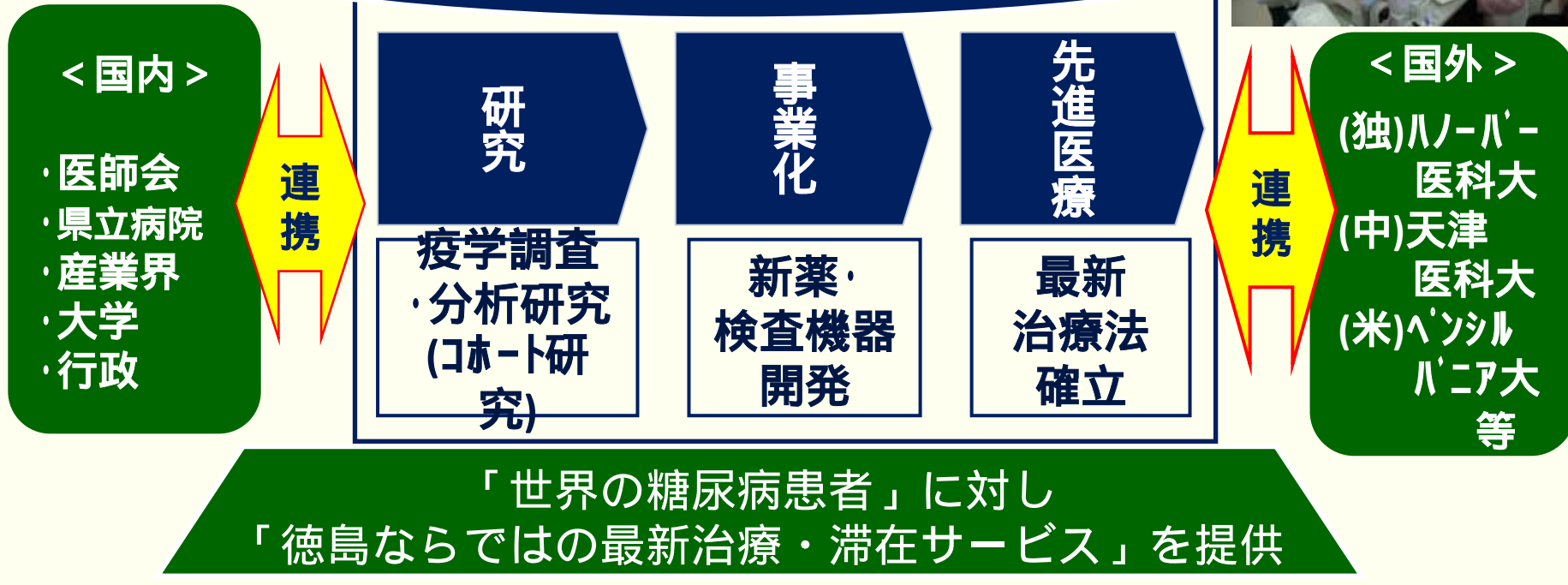
「徳島健康・医療クラスター構想」

世界的な「糖尿病研究開発・臨床拠点」

## 2 世界的な「糖尿病研究開発・臨床拠点」の形成

### 「徳島健康・医療クラスター構想」の推進

世界的な「糖尿病研究開発・臨床拠点」  
～ 徳島大学病院を中核に ～



糖尿病患者が世界的に急増

ターゲットは中国

徳島県内 糖尿病・予備群  
患者数 10万人

国内 糖尿病・予備群  
患者数 2210万人

世界糖尿病患者数  
2億8500万人

2030年予想

世界糖尿病患者 4億3800万人 (うち半数はアジア型)

# 3 糖尿病治療をベースとした「医療観光の創造」

(1) 「上海万博」へ出展 <H22.5.1 ~ 10.31 6か月間>

入場者数7300万人突破 ('70大阪万博 6400万人)

「**関西の都市魅力エリア**」に  
近畿府県と共同出展

5月22日(土)~31日(月) **徳島ウィーク**設定

5/23 **阿波おどり**公演

選抜連40名による公演

5/23 **産業交流会**

上海市政府、地元企業等と交流



上海万博・阿波おどり公演



観光PRエリア

(2) 観光商談会の開催

「**上海観光商談会**」

H22.5.24 上海市内ホテルで  
医療観光の旅行商品 PR



熱気に満ちた商談会

(3) 医療観光の創造

モニターツアー実施 (H22.3.20 ~ 23)

「徳大病院での検診」及び

「県内宿泊・観光」を体験

第1弾 (H22.5.22 ~ 25)

中国旅行社の企画ツアー

第2弾 (H22.10.9 ~ 11)

新たに民間病院での検診実施

# 4 中国人「千客万来」プロジェクトの展開

## (1) 「中国人個人観光ビザ」の要件緩和

(H21.7.1~)

年収25万元(約325万円)  
以上の富裕層  
北京、上海、広州 3都市限定  
対象 約160万世帯

(H22.7.1~)

年収10万元(約130万円)程度  
以上の**中間層**・富裕層  
中国全土へ  
対象 約1600万世帯 **(10倍に)**

## (2) 「千客万来」プロジェクト(主な取組み)

### 受入態勢整備(早期対策)

- ・「銀聯カード」の導入促進
- ・「中国語案内表示」の拡大 等



(目標) 中国人県内宿泊者数  
「**倍增**」を目指して

### 「中国湖南省」との交流

- ・H22.5 上海万博の徳島ウィーク時、  
湖南省側から提案
- ・H22.9.4~5  
「**経済ミッション団**」が湖南省訪問



H22.9.4 友好交流意向書 調印(長沙市)

# 5 「教育旅行」の創造

～海外からの教育旅行を誘致～

## (1) 体験型観光のメッカ徳島

誘致校数 H18 1校

H21 23校

### 県南部 (南阿波よくばり体験)



アドベンチャーレース



漁業体験

### 県西部 (そらの郷 山里物語)



ラフティング体験



収穫体験

## (2) 教育旅行の創造

### 第1弾 (H22.7.15来県)

中国天津市 小学校 34名  
観光に加え 交流会実施も



小学校で交流会

### 第2弾 (H22.8.1 ~ 21来県)

韓国青少年連盟 (小・中・高生)  
総勢 741名



中学校などで交流



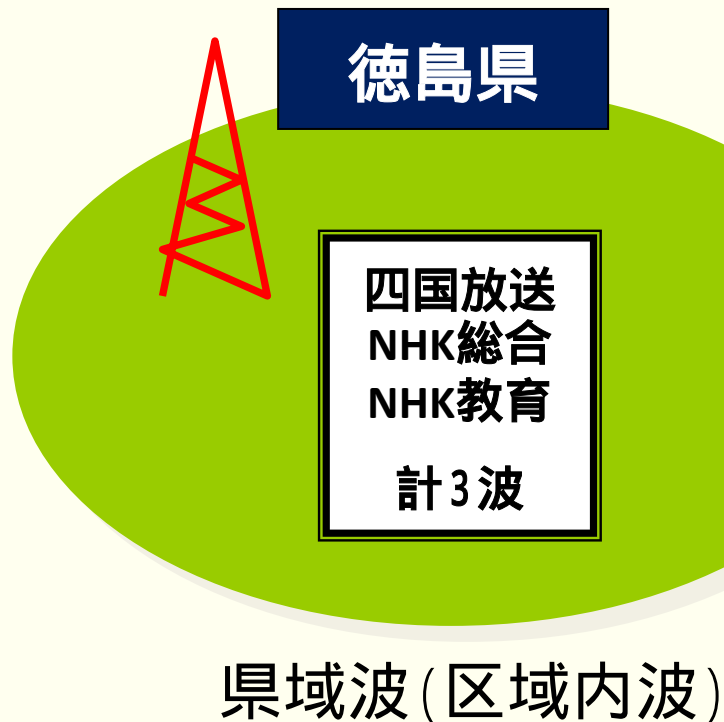
# 「テレビチャンネル激減危機」回避作戦

# 1 徳島のテレビ事情

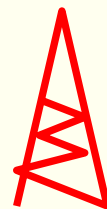
～ 地域特有の受信環境 ～

## アナログ波の受信状況

～ 放送法上は3波のみ～

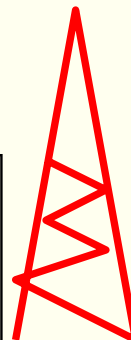


兵庫県



毎日放送  
朝日放送  
関西テレビ  
読賣テレビ

大阪府



サンテレビ  
テレビ大阪  
テレビ和歌山  
計7波

和歌山県



近畿圏からの  
区域外波

The diagram shows three red antenna icons representing broadcast stations in Hyogo Prefecture, Osaka Prefecture, and Wakayama Prefecture. Pink arrows point from these stations towards the Tokushima Prefecture oval, indicating the reception of out-of-region waves from the Kinki region.

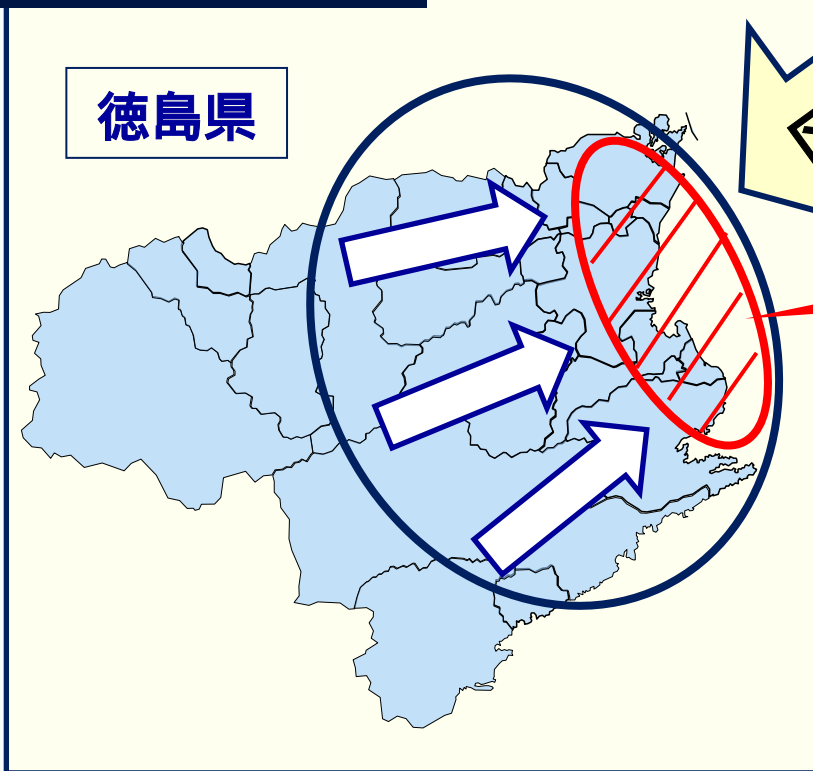
「区域外波(近畿圏)」の受信で  
最大10波のテレビ視聴が可能

全国状況(区域内波ベース)  
最多受信区域  
首都圏の6都県(8波)

## 区域外波の受信可能エリア (イメージ)

地デジ導入前

徳島県



区域外波

地デジ導入後

アナログ波と比べ  
届きにくい特性

「受信可能世帯数」は  
約3割まで減

本県固有  
の課題

県全域で区域外波が視聴不能  
になる恐れ

受信可能波が、区域内波のみと  
なり、10波 3波に激減の恐  
れ

対策

「全県CATVでの視聴」へ

### 3 「ひかり王国とくしま」の創造

#### (1) 「全県CATV(ケーブルテレビ)網」整備構想

～ 「四種の神器」を生み出す「光ファイバー」を全県域に普及 ～

##### 地上デジタル

引き続き  
県外波の  
視聴可能

##### ブロードバンド

インターネットの  
常時接続・  
大容量送信

##### IP電話

域内は  
電話代が  
無料

##### 地域情報発信

災害情報等  
地域情報の  
共有



双方向通信(イメージ)



H20.11.7 地域ICT未来フェスタ



上勝町いもどり農家

#### (2) 整備の状況 ～ 都市部と中山間地域の格差を解消 ～

「全県CATV網・整備事業」 H22年度中に全市町村で完了予定

「地方公共団体保有光ファイバ延長」 200,711km 全国3位!

「県内CATV世帯普及率(H22.3末)」 70.3% 全国5位!

# 4 「ICT関連産業」の立地促進

## (1) 「コールセンター・データセンター」の誘致拡大

全国屈指の「ロードバンド」環境を  
活用

～「全国最高水準の優遇制度」で立地支援～

平成15年度時点 0

平成22年度10月末現在  
9事業所・約720名の雇用創出

### 主な企業



テレコメディア



ジャストシステム



テレネット



大塚ホールディングス

H21.4月 デジタル  
コンテンツ産業 誘致に成功



ユーフォーテーブル(有)

アニメ・  
CG等  
制作会  
社

(本社)  
東京都

### アニメイベント「マチ アソビ」

徳島市内で、秋・冬・春に、  
アニメを核としたイベント開催  
アニメ映画祭、商店街ジャック

等



H22.1 冬のマチ アソビ

### 人材育成

企業対象講座(四国大学連携)

県内中小企業・社員を対象に開設

デジタルクリエイター養成講座

小・中・高校生対象(アニメ制作実習等)  
講師はユーフォーテーブルから派遣

### 期待する効果

県内企業の  
デジタルコンテンツ利用拡大  
県内のコンテンツ市場拡大  
将来のアニメーター養成

「林業の衰退」から再生・飛躍、そして新成長戦略へ

# 1 往年の日本の成長産業「林業」の衰退

## 都を支えた「阿波の木材」

【鎌倉時代】 京都「下鴨神社」の造営に、木頭(那賀町)産の木材寄進

【室町時代】 1445年兵庫北関(神戸市兵庫区)入船記録  
「阿波の船」年122回入船、積荷のほとんどが木材



下鴨神社

## 全国に進出した「阿波の木材商」

【江戸時代】

「藍」・「木材」 阿波藩の貴重な収入源

1700年代前半～ 全国でも早く、本格的な「植林」を開始

大阪進出 「阿波座」開発

1710年頃：阿波材木問屋6軒が進出

堀川兩岸(大阪市西区)に木材市場を開設

東京進出 「木場」開発

1804年：阿波藍商人が「江戸新木場店」(江東区深川)を開店  
江戸最大手の材木商に



那賀川での木材流送



東京 木場

## 加工の先進県、そして「外材時代」へ

【昭和初期】

高度な製材技術導入「スギ薄板」

「阪神市場」の8割を席卷

【昭和30年代～】

「高度経済成長期」建築ラッシュ・紙需要急増

林業・木材業は好況、植林が奥地へ進展

「木材不足」・「価格高騰」が国民生活圧迫

国内林業のターニングポイント

外材輸入の自由化

昭和35年「丸太」輸入全面自由化

昭和39年「合板・製材品」輸入解禁

エネルギー革命

「薪・炭」から「石油・ガス」へ転換



# 2 森林・林業を取り巻く環境変化

～ 転機到来へ～

## 外材の本格輸入時代

対ドル円相場

固定1ドル360円 (S46 ~ 306円) 【変動制】

昭和48年

昭和60年

平成6年

直前  
235円

プラザ  
合意

直後  
215円

1年後  
150円

100円  
割れ

## 木材自給率

昭和35年

丸太輸入  
全面  
自由化

昭和44年

木材自給率  
50%割れ

国内の山村・森林

国産材価格急落  
山村の過疎化  
林業者の減少  
山林の放置

平成20年

自給率  
24%

## 徳島の森林

「私有林」が89% (全国58%)  
管理放棄・境界の不明確化



手入れ不足の森林



台風による山腹崩壊

## 国際的な動き (新たな転機!)

### 資源の囲込・争奪

ロシア丸太輸出  
関税引上げ

インドネシア  
丸太輸出規制

中国の需要  
10年で5倍  
日本の山林買収

### 環境への要求

「京都議定書」  
日本の削減目標  
6%うち森林3.8%

国際的な  
排出権取引制度

途上国の  
違法伐採問題

# 3 「林業再生」へ「徳島発」の挑戦（H17年度～）

切捨てられていた「間伐材」を「宝の山」に！  
森林所有者に「収入」を！ 山に「雇用」を！

**全国初！**

林業再生プロジェクト



## 川上

機械化(3点セット)

これまで  
25セット導入



スイングヤーダ



プロセッサ



フォワーダ

人材育成

森のエキスパート  
120名養成



機械化による増産体制を整備

## 川下



製材工場



合板工場

加工能力アップ 国産材に原料転換

丸太の品質にあった加工体制を整備

# 4 再生から「飛躍」へ、攻めへの転換（H19年度～）

「林業再生」・「飛躍プロジェクト」の成果

## 生産力



機械3点セットでの作業

生産量 「3倍増」  
 (H16) 2万6千m<sup>3</sup>  
 (H20) 8万4千m<sup>3</sup>  
 (H21) 6万5千m<sup>3</sup>

生産性 「倍増」  
 (H16) 2.5m<sup>3</sup>/人・日  
 (H21) 5.0m<sup>3</sup>/人・日

## 雇用



建設業の技術研修

新規就業者  
 (H17～21) 134名

飛躍プロで追加

建設業の参入  
 (H22現在) 22社

## 加工力

多様な木材産業が立地する  
 「徳島ならではの強み」



全国に類のない  
 「根元から梢まで」総合利用体制

飛躍プロで追加  
 A材(良質材)      B材(低質材)      C材(端材等)

製材・  
 プレカット工場



四国唯一の  
 大型合板工場



全国唯一の  
 間伐材MDF工場



## 木材利用

公共事業での率先利用 「1.7倍」  
 (H16) 6,959m<sup>3</sup>      (H21) 11,993m<sup>3</sup>



耐震改修(徳島合庁)



木製ガードレール

民間需要の拡大戦略

「県木材認証制度」  
 (H18.10～)

「徳島すぎの家づくり  
 協力店制度」(H22.4～)  
 登録数38店  
 (県内31店、県外7店)



徳島すぎの家

飛躍プロで追加

# 5 「環境の世紀・21世紀」への「徳島モデル」構築

## とくしま公有林化プロジェクト

「県民共通の財産」として森林を取得

管理放棄森林の解消、良質な水源の確保

「とくしま絆の森」 約1,350ha 取得  
県企業局「水源の森」 約10ha 取得予定



とくしま絆の森

## 地球温暖化対策推進条例スタート！

特色

CO<sub>2</sub>吸収源として森林整備を推進！

相互に連携し協働した森林の保全、整備

カーボンオフセットを「森づくり」に導入

企業等が、自社のCO<sub>2</sub>排出量を埋め合わせる

H21.4.1施行中

四国初！

条例を実践！

「とくしま協働の森づくり事業」開始

(H21.6月～)

これまで1年半で、

- ・企業42社と「パートナーシップ協定」
- ・県民、企業から約3千万円寄付
- ・125haの森づくりを実施中



アサヒビールつるぎの森

国内排出量取引制度  
(J-VER制度)の導入

「とくしま絆の森」70ha申請中

- ・今年度内に認証取得
- ・クレジットを  
排出事業者販売予定

## 生産・消費の拡大対策

時代要請

「間伐」から「主伐」への転換  
林業への雇用転換  
「木材自給率」の向上

新対策

生産性の高いシステム開発  
魅力的な商品開発  
大消費地、海外への展開

## 森林の保全対策

時代要請

管理放棄森林の解消  
海外資本による  
山林買収からの防衛

新対策

新たな「保全」の仕組み  
公有林型 + 協働型  
+ 公的管理型 + 管理受託型

調和

## 「関西広域連合」にも期待

域内での地産地消  
域外への  
合同プロモーション

域内のCO<sub>2</sub>排出量を  
徳島の森で  
カーボン・オフセット



認証木材の合同展示会



徳島の森がCO<sub>2</sub>を吸収

「産業」と「環境」がマッチした「徳島発の林業復権モデル」に！

「三位一体改革」をバネにした「21世紀型予算」

予算編成の質的転換 ~ 金額重視からニーズ重視へ ~

# 1 「三位一体改革」の激震

～ 国からの一方的な措置 ～

## (1) 「地方交付税」の位置付け

都道府県のH22当初予算ベース

地方税 > 交付税

〃

15団体

交付税 > 地方税

団体数

32団体

< 歳入構成割合 >  
～ 全国平均 ～

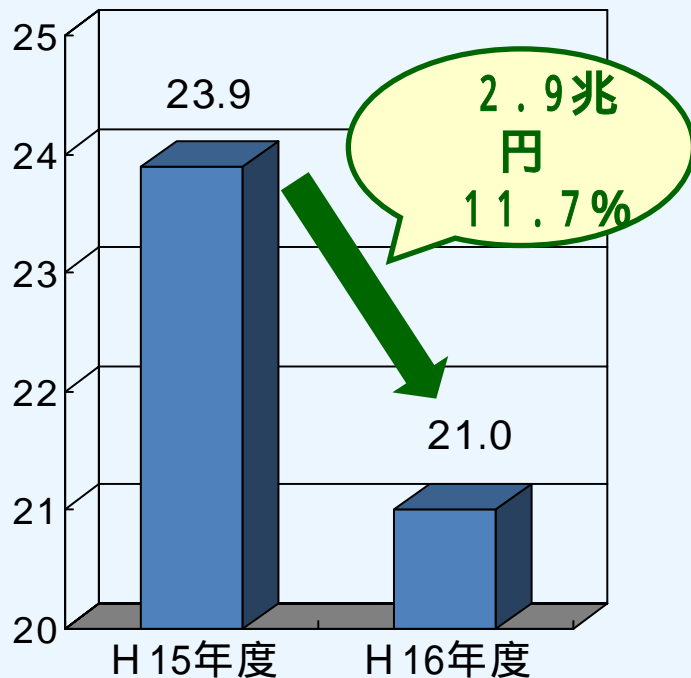
地方税 27.3%

交付税 33.7%

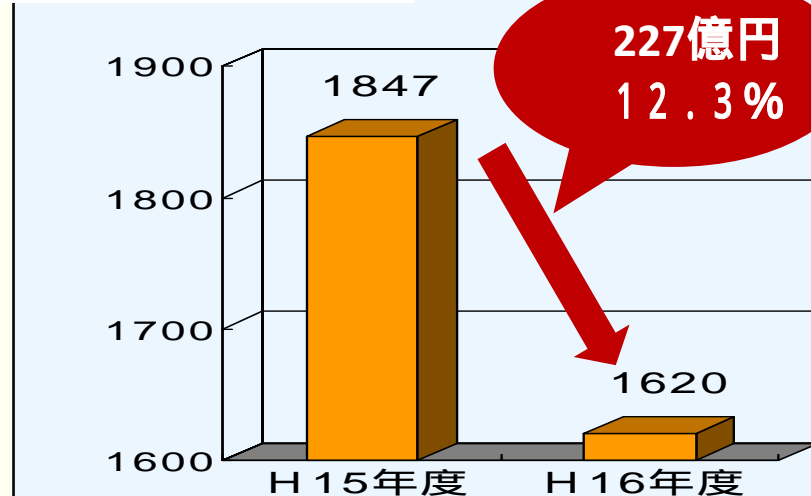
## (2) 「地方交付税」の激減

H16～ 三位一体改革

全国ベース(兆円)



徳島県では(億円)



財政調整的基金の減  
H15末 560億円 H21末 73億円

## 2 国に先駆けた「財政構造改革」の推進

### 「徳島県の義務的経費」の推移

当初予算ベース

(単位:億円、%)

項目	H15年度	H21年度	比較 A /	H22年度	比較 B /
人件費	1,362	1,179	13.4	1,172	0.6
扶助費	328	353	+7.6	381	+7.9
公債費	761	911	+19.6	898	1.4
計	2,451	2,443	0.3	2,451	+0.3

### 対前年度比(比較B)の状況

人件費は、「職員数の削減 (H15 3,754人 H22 3,292人 比較 12.3%)」、  
「禁じ手である職員給与費削減」等により減 (0.6%)

### 「徳島県のラスパイレス指数」の状況

H15 102.1(全国22位) H20 92.5(最下位) H21 92.7(45位)

扶助費は、高齢化の進展等により、大幅に増 (+7.9%)

公債費は、昭和の高度成長期以来初の減となった21年度に続いて、

対前年度比減 (1.4%)



# 3 「既存施設の有効活用」で県民ニーズに即応

## (1) 「県立郷土文化会館」の有効活用 ～昭和46年(1971年)設置～

### 背景

老朽化が進行  
耐震化が必要  
2007年に  
徳島で**国文祭**

耐震改修に併せ  
機能強化(2005～2007)

ホールの拡張、観客席の拡張  
入口、トイレ、通路屋根等の  
ユニバーサルデザイン化  
非常用発電装置の強化

### 相乗効果

高レベルの  
舞台芸術の  
上演が可能に  
地域の  
防災拠点へ

等

### 改修前



施設外観



ホワイエ



ホール座席

### 改修後(2007.3～)

ネーミングライツ導入で  
「あわぎんホール」に



施設外観



ホワイエ



ホール座席

# (2) 「県立青少年センター」の有効活用 ~ 昭和49年(1974年)設置 ~

施設の「**長寿命化・耐震化**」

施設の「**機能充実**」

消費者情報センター、個室音楽室、インドア運動場の新設

**PFI事業**で「**利便性向上**」と「**維持管理コスト縮減**」

利用申請のインターネット受付、スポーツ・文化講座の開設

一石  
二~三鳥

改修前の  
「県立青少年センター」



改修後  
H22.4オープン



ネーミングライツ導入で  
「とくぎんトモニプラザ」に

地下1階  
温水プール



地下1階  
インドア運動場



# 4 「とくしま“トクトク”事業」の推進

創意工夫の3本柱

**基本理念** ~「財源ありき」からの脱却~

県の創意工夫と、県民のパワー・ネットワークを活かし、  
協働による「新しい公共サービス」を展開

## ゼロ予算事業

「予算計上」にこだわらず、  
職員自体を予算と捉え、  
知恵と工夫で事業を  
実施

< 事業数を拡大中 >

H19(初年度) 75事業

H22 235事業

## 県民との協働推進事業

県民の参画を得て、  
県民と行政が協働で  
効果的に事業を実施

## 県民スポンサー事業

県施策に対し、県民から  
もの・お金・人材などの  
支援を得て、事業を実施

## 府県間における「広報媒体交換」事業

### 大阪府「府政だより」

H21年9月号に

徳島県情報を掲載

約340万部発行

**徳島 人形浄瑠璃公演ペアチケット** クイズ正解者の中から抽選で各5組10名様にプレゼント!

- 1 人形ジョーリ with UA & 能役者  
日時: 10月17日(土)15:00~
- 2 新作人形浄瑠璃哀れ銀十郎 ~傾城阿波囃子より~  
日時: 10月23日(金)19:00~

※ 場所: 徳島県徳島市藍場町「あわざんホール」

**徳島県からのお知らせ**

**「大阪からひよと走って 徳島へ」**  
本四道路や地方の高速道路では、土・日・祝日、5割引・上限1,000円の料金割引が実施されています。この機会に、ぜひ徳島へお越しください!  
普通車(ETC車)の場合 (例) 梅田・なんばIC → 鳴門IC 6,500円から1,850円へと大幅割引  
高速道路の料金割引、徳島の観光情報はこちら <http://our.prof.tokushima.jp/go/>

**阿波人形浄瑠璃月間「ジョーリ100公演」**  
10/3(土)から1カ月間、徳島の人形浄瑠璃の魅力を満載した「ジョーリ100公演」を開催します。伝統人形芝居あり、農村舞台あり、新作舞台あり。有料公演から無料公演までさまざまなジョーリが満載です。詳しくは「ジョーリ100」で検索!  
徳島県文化国際課 ☎ 088(621)2119

### 「県政だよりOUR徳島」

H21年8月号に

大阪府情報を掲載

約33万部発行

**“夢のかけ橋”通信** 本四道路の料金割引で、より身近になった大阪府と徳島県の一部も交換し、両地域の魅力を発信します。

大阪府からのお知らせ 徳島県のみなさまへ

**「水都大阪2009」がまもなく開幕します!**  
8月22日(土)~10月12日(月・祝)

大阪の中心部には、世界的にもまれなカタカナの「ロ」の字型の水の回廊があります。親水性の高い中之島公園を主会場に八軒家浜や水の間などで、遊を楽しむいろいろなプログラムを実施します。  
夏、大阪と一緒に「水の都・大阪」の魅力を発信しませんか。

- 朝市リバーカフェ  
東浜会場 ※8/22(土)~31(月)  
西浜会場 ※9/1(土)~23(水・祝)、10/9(金)~12(月・祝)
- アーティストによる体験型プログラム  
「水辺を楽しむ100の方法」  
(中之島公園会場)  
ペットボトルや廃材を使った扇りや灯りづくりなど。
- アート船「ラッキードラゴン」  
(中之島公園会場)  
アーティストが楽曲したアート船「ラッキードラゴン」が子どもたちの夢をのせて水の回廊を航行。
- 大阪川床「北浜テラス」  
船が行き交う川と緑美しい中之島公園や近代建築を望む、絶好のロケーションで食事を楽しむ。

ほかにも、とっておきの催しがいっぱい!  
●お問い合わせは  
水都大阪2009実行委員会事務局  
電話 06-7506-9024  
<http://www.suito-osaka2009.jp/>

無料で  
紙面交換

# 「県民との協働推進事業」の事例

## 官民協働型「維持管理システム」事業 ～ 県管理河川・道路で ～

従来

県が維持管理事業として実施  
近年、予算減で実施回数が減少

実証実験 …… 参加団体を公募  
主な役割分担

(住民団体) 草刈り作業

(建設業者) 運搬作業

(市町村) 処分 (県) 費用負担



H22.7.27  
園瀬川堤防(徳島市)での作業

< 効果 >

維持管理費単価の減により  
実施回数増

# 「県民スポンサー事業」の事例

## スポンサー付き道路照明灯事業

スポンサーは、2万円/年の  
照明灯電気代を負担  
県は、**企業名を「標柱に表示」**



表示例

# 5 「実証実験・モデル事業」の展開

～事例紹介～

実証実験

H22 19事業

効果未測定の実証実験で  
検証し、今後の対策に反映

「コンビニとの連携」による  
東京アンテナショップ設

置

全国初！

ローソンとの連携型

東京『なっ！とくしま店』

ローソン 虎ノ門 巴町店

開店時間 24時間 365日

従来 10:00～18:00 平日のみ



H21.3 なっ！とくしま店(東京) 設置

モデル事業

H22 32事業

効果が見込める事業の実施を  
モデル的に率先し、普及促進

独立ソーラー式 電動アシスト自転車  
普及 モデル事業

全国初！

徳島県庁で実証実験を行った

「ソーラー駐輪場」事業

H21 **エコブダクツ大賞受賞！**

H22 モデル事業として

県内各地に普及開始



H21.3 「ソーラー駐輪場」実証実験に着手

百年に一度の  
ピンチを

徳島発展の礎を築く  
チャンスに！

